

令和5年度 第2回豊中市生活支援サービス部会 議事録

令和6年(2024年)2月14日(水)

午後2時～午後3時05分

第二庁舎3階 大会議室 及び WEB

《出席状況》 豊中市生活支援サービス部会員5名中5名出席

豊中市生活支援サービス部会

◎大野委員、秦委員、今井委員、小林委員、樋口委員

(◎=部会長 委員名簿順)

事務局

福祉部：坂口次長兼長寿安心課長

長寿安心課：島田係長

長寿社会政策課：山岸課長、森本課長補佐、望月主査、溝田主事、中根

豊中市社会福祉協議会：勝部事務局長、吉田課長、佐藤課長

《傍聴者》1名

□議題

(1) 生活支援コーディネーター活動状況報告について

(2) 令和6年度生活支援コーディネーター活動計画(案)について

(3) 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における生活支援体制整備事業実施計画について

(4) その他

□議事内容

事務局

定刻になりましたので、令和5年度第2回生活支援サービス部会を開催いたします。
本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

本日の出席状況を報告いたします。

部会員5名のうち5名が出席されております。したがって、要綱で定める部会員数の過半数を超えておりますので、本日の会議は成立しております。

【WEBの説明、資料確認】

部会長

皆様こんにちは。お忙しい中ご参集いただきありがとうございます。

令和5年度の第2回の生活支援サービス部会を開催させていただきたいと思います。

議題1

■生活支援コーディネーター活動状況報告について

事務局

【資料1】「生活支援コーディネーター活動状況報告（令和5年9月～12月）」の説明

部会長

ありがとうございました。

いろいろご紹介、ご説明いただきましたが、何かご質問やご意見はございますか。

スマホの講習会をされていて、これはニーズがあることだと思いますが、頻度はどのくらいですか。

事務局

現在6か所の地域福祉活動支援センターで年に2回実施させていただいております。
また、小学校区の福祉委員会でも、希望される校区につきましては相談会などもさせていただいております。

事務局

小学校区に「なんでも相談窓口」を設けており、そちらでも月1回程度、希望される校区から順次始めていて、既に定期的で開催される校区が4校区あり、お試しが3校区ぐらい始まっているということで、皆さんこういう取組みをすると、最初はちょっと疑心暗鬼で、どうかなという感じですが、大変ニーズがあるということが分かってきて、校区の役員さんたちが集まる会を2か月に1回やっていて、そこでも皆さんにPRをさせていただいて、順次増えているというのが現状です。次年度も、デジタル戦略課が応援をしていただけることが決まっておりますので、さらに広めていながらICT難民がでないように応援していきたいなと思っております。

部会長

ありがとうございます。きっとこれからうちでもやってほしいというところも増えるでしょうし、またアプリも一度インストールしたらアップデートが必要なことになりますと、たちまち分からなくなったりすることもあるでしょうから、きっと1度で済まない、何度も聞きに来られたり、教えてほしいと思われる方もいらっしゃるでしょうし、そういった関わりの中で、いろんな高齢者を狙ったICTを用いた少し怪しいお話や何かを未然に防ぐような、そういう緩やかな介入にもなればよいなと思いながら聞いておりました。

事務局

ありがとうございます。「福祉なんでも相談窓口」を各小学校区ごとに開いております。今年度の相談の中には、やはりよく分からないメールが届いて詐欺を発見できるようなこともあったり、やはりふだんから相談ができる体制が市民の方に広まってくると、困ったときにすぐ来ていただけるということになるかなと思っておりますので、今後も定期に取り組みたいと思っています。

部会員

アフターコロナ、ウイズコロナの中で、これだけたくさんの事業を久しぶりに全開でやっておられますが、休んでおられた事業がうまく復活できているのかということと、10月28日に介護予防・生活支援フォーラムをされていますが、簡単で結構ですので、その反応等をぜひ教えていただければと思います。

事務局

ありがとうございます。豊中の場合は、生活支援コーディネーターのいろいろな事業につきましても、「コロナでも離れていてもつながろう」ということで、かなり継続的なやり方を変えて進めてきたこともありましたが、コロナ禍でアンケートを取らせていただいて、ぐんぐん元気塾などやはり3か月ぐらい休んでいる人たちの中には、たちまち体が弱っていく高齢者の実態が分かったこともあり、完全に止めないでできる形で継続しようということを行ってききましたが、それによって例えば会場が狭いところでは2部制にして午前と午後に開催するとか、時間を短くして3部制にするとかして、かなり負担の大きな対応をしていた時期がありました。5類になってからは比較的スムーズに、現在は人数がかなり増えてきて、そのやり方を継続しながら進化してやっている地区も出てきているかなと思っております。

それから、「介護予防・生活支援フォーラム」につきましては、初めてこの新聞をご覧になられて便利屋の事業をやってみられた方、安心サポーターになられた方のお話であったり、「ぐんぐん元気塾」は参加者がとても増えてきているというお話であったり、お針箱につきましては、コロナ禍でずっと活動が止まっていた時期があったんですが、マスクなどを皆さんが作っておられるということから、手仕事がお好きな方が結構たくさんおられるという話の中で、こういうお針箱チームをつくったら非常に喜んでもらえるということで、みんなで教え合いながら仲間づくりが広がっているというお話もいただきました。

今回は対面での開催もさせていただきましたので、いろんな話について反応もよくて、こんなにたくさんの社会参加の場があるということで、豊中はとても幸せだというようなアンケートのお答えもございました。

部会長

ありがとうございました。

コロナ禍から元の活動であるところに軸足が変わりつつあるというところでしょうか。次年度はもう少し活動も増やしていけるのかなと思って期待をするところです。

全市の一斉訓練、安否の訓練をされたり、ローラー作戦を行われたり、これまでのようにICTの難民になりそうな方、外国にルーツのある方といった特定のニーズのある層に対する働きかけと同時に、一斉に広く一定この豊中の社協が持っているネットワークやマンパワーで、漏れや取りこぼしがないように働きかけておられるというのと、2つの側面からいってらっしゃるなどという感じはするんですが、この一斉にというあたりの動きを、例えばちょっと違う課になるかと思うんですが、特定健診の対象者は40歳から75歳までなので少し幅広いですが、疾病の予防という意味では、より積極的に働きかけていきたいけれど、なかなか健診につながらないというところで、いろいろな工夫をされておられるんじゃないかと思うんです。こういうものを受けなさいとそこまで言うのではなく、こういうものがあるよと、お知らせはがきを送るだけではなく手渡し

で持っていく資料の一つに入っていると、何か社協さんの持っているネットワーク力と手を組めば、そんなところももしかして使えるのかなと思ったりしながら聞いておりました。また、多方面からより幅広い活動をお願いしたいと思います。

事務局

コロナのときに、フレイルの処方箋のような形で、豊中の保健所のチームと連携させていただいて、一般受診をされたときにフレイルの兆候がある方々や、少し鬱っぽくなってらっしゃるような方々の情報を、ドクターから包括支援センターや我々のほうに届けていただきながら、社会参加の処方をしていくというようなことを実験的にやらせていただいたこともございまして、医療や保健の健診と私たちのつながりの試してみたいなことで受診いただいたこともあります。

私たちが今思っているのは、その社会支援の在り方が75歳以上の方々、いわゆる後期高齢者の方々は、例えば会食を一緒にするとか、体操をするとか、みんなで集うとか、そのものを目的として集まったり交流ができるんですが、団塊から後の方々というのは、取りあえず集まりましょうとか運動しましょうみたいなことだけだと、なかなか趣味や嗜好など、それぞれが独創的に動かれている方が多くなりますので、高齢者はみんなこれだけ1本やったらいいというやり方ではなく、もう少し枝葉の分かれるような、それぞれの趣味に沿ったようなことを入り口にしながら、社会参加や介護予防を切り口に考えていけないかと、今回「多文化共生ボランティア」であったり、福祉だから福祉の事業をするということだけではなくて、そういう入り口から自分のつながりづくりをするとか、歌や楽器が弾けるといところからもう一回つながりを増していくように、少し新しいことにも挑戦しながら、社会支援を多様な形に変えていけたらなと考えているところです。

部会長

ありがとうございます。また、いろんな新たな取組み、思ったよりうまくいかないなというようなことも、あるいはご苦労される点もあるかもしれませんが、そういったことも含めてご報告を伺えるのを楽しみにしております。

そうしましたら、次の議題に進めさせていただきたいと思います。

議題 2

■令和6年度生活支援コーディネーター活動計画（案）について

事務局

【資料2】「令和6年度（2024年度）生活支援コーディネーター活動計画（案）」の説明

部会長

ありがとうございました。

今のご説明につきましてご質問、ご意見等はございますか。

事務局

補足ですが、買物困難の問題につきましても、今回のこの生活支援コーディネーターの中では大きなテーマになっておりまして、豊中のような都市化した町で買物困難なんであるのかと、いわゆる地方の過疎の地区の問題じゃないかと思われがちですが、自転車に乗れなくなると、5分歩くことが難しい状況の人たちは、たちまちコンビニにも行けないような状況があります。第1種住専でそもそも町の中に商業地域が入れないような住宅街も小学校区にありまして、そういうところでは本当に生鮮食品がほとんど買えないということがあって、大変困難な状況がございます。

そこに関しては、現在イオン、生協、ローソン、ファミリーマート等、移動販売車のご協力をいただきながら、最近では阪急百貨店もお菓子の移送の車が始まったり、「豊中めぐり」の野菜をお届けするといったことで、移動販売の提供につきましては定期的に開催する場所をつくってはいるんですが、やはり一般のお買物をするところよりは少し値段が高くなる、それに物価高騰もあってかなり金額が高く見えてしまうのと、月に2回程度なので、15分から20分ぐらいのその時間帯を忘れてしまうということもあり、なかなか定着しないのです。

我々生活支援コーディネーターがアンケート調査などを行って、需要があるかどうかもう一定把握をしながら、皆さんにチラシを配ったり問いかけもするんですが、なかなか思うほどの効果が上がってこないこともあって、ちょっとこのあたりは難しい。企業さんの営業努力も含めてもう少し何か考えていかないと、やっではいるけれどもお互いにそんなに成果が上がらないことになりそうです、やっぱりやめようかという方向になってしまいますので、極力施設の利用者の方とその周辺地区、最低限施設に入所されている方々はお買物を楽しみにされていることもあるので、そういう施設等を考えてみたり、鋭意努力をしているところではありますが、施設側もこのコロナ禍で外の方との接触を止められて、やめられたところも幾つか出てきておりますので、次年度からはもう一回巻き直しかなと思っているところではありますが、非常に買物困難の問題、それから移送の件も社会福祉法人さんにご協力いただいておりますが、決まった時間帯にずっとバスを待つというのはなかなか難しく、かなりご努力いただいて、徐々に利用者が増えてきているかなといったところで、定着までまだかなり時間がかかるかなという状況です。

そういう意味では、アプリを利用して好きなときにポチッとできる力を身につけてもらうというのも一つの方法なのかなと思って、タクシーGOを使って呼んだほうが早くタクシーが来るということもあり、いろんな手法、今使えるいろんなものを考えながら実施していきたいと思っているところではありますが、このあたりはちょっと悩ましいです。

部会長

ありがとうございます。私も、たまたま、少し前に阪急百貨店のそのサービスのことを知りまして、豊中市のほうに行っているということでした。何となくちょっとお高めのお菓子で、それが百貨店の良さでもあります、これを日常的に買うということもないでしょうから、どんな層がどんなときに利用したいと思われるのかなと気になっていたところです。

部会員

いろいろとご努力をされておられることだと思います。ちょうど第9期の介護保険事業計画等でパブリックコメントも見られたかと思いますが、やはり他の市町村でも同じなんですよね、この移動支援、買物、ちょっとした移動の伴うごみ出しも。必ずしもタクシーだけでは解決できない限界みたいなものもありますし、何といたっても生活支援コーディネーターさんだけではやはり解決し難しいですね。行政はじめ、新しい国の仕組みもどうなるのか分かりませんが、いろんなところと連携して、この交通、移動の問題、これは取り組んでいく必要が出てきているんだろうなと思っております。

事務局

今のお話は、地域のほうでも切実で、阪急バスの路線が今回改定されて、もちろんバス会社も人員や働き方の問題などいろんなことが問われてきていて、経営努力の中でのお話だろうとは思いますが、例えば中西部の利倉のあたりから1本で済生会病院のほうへ行くバスがあったのがなくなってしまい、たちまち病院に行く手段がなくなったとか、それから地域によっては整骨院が全くなくなって、バスがなかなか横に走っていない中で、病院に行けないというお話が出てきたり、現場の話の中ではたくさんいろんなご相談を聞きます。かといって整骨院の誘致は私たちがやれる仕事でもございませんし、バス路線の内容については全体のいろんな経済等との関連で決められている面もあるので厳しいなということで、皆さん悩んでらっしゃる方が多い現状です。引き続きこういう現状等については、いろんな協議体との場面でもご説明しながらアイデアを出し合えるように考えていきたいと思っております。

部会長

ありがとうございます。豊中にかかわらず、過疎地の話ではなく、大阪でも、バスであったり買物であったり、問題というのは至るところに起きていて、これは、それぞれの地域での都市計画のマスタープラン等とも連動しながら考えていく大きな枠組みと、こういった地域に根差したマンパワーなりのネットワークで対応していくというのと、両方で何とか隙間を埋めていくという形で、しかしながら、なかなか効果が見えるものが少ないなと残念な思いで感じる日々ですね。タクシーを使って病院に行ったついでに病院の近くのスーパーで買物をして帰るみたいなことが、今はまだ一番安くて欲しいものを買ってぎりぎりなのかと、町でお年寄りを見て思うんですけれども、他にいかがでしょうか。

そうしましたら、今非常に多様な活動につきまして令和6年度の計画をご説明いただきましたので、それらの計画につきまして、これらの内容を実施していただきながら、また新たな問題点などをご報告いただければと思います。ありがとうございました。

そうしましたら、次は議題の3のご説明をお願いいたします。

議題3

■第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における生活支援体制整備事業実施計画について

事務局

【資料3】「生活支援体制整備事業実施計画（令和6年度（2024年度）～令和8年度（2026年度））」の説明

部会長

ありがとうございました。

今のご説明につきましてご質問やご意見はございますか。

本日もたくさんの活動をやって今の豊中市の現状についてのご説明いただきましたけれども、何か一言ご感想等いかがでしょうか。

部会員

活動されているのがよく分かりますけど、うちも、施設で買物をしたいというご希望の方がたくさんいらっしゃるの、1つの施設ではローソンの移動販売車を利用して、月に1回ですが施設の前に1時間ほど止めてもらって、皆様にお買物を楽しんでいただくというイベントをさせていただいています。

部会員

資料3の3ページに「新しく開発した地域資源、1種類」とありますが、どのような地域資源なんでしょうか。

事務局

これまででしたら「豊中めぐり」が始まるとかですね。「豊中めぐり」につきましても、市内でご厚意で土地をご提供いただいていたものから、今度、小学校をお借りして展開するとか、あるいは施設のお庭を使わせていただくことをお話ししながら、新しい人材や協力者を増やしていきながら社会参加を広げていくみたいなことです。これも、いろいろ種をまいておりました、何かの偶然で出ている形なので、思うように計画どおりいけるかといったらなかなか難しいんです。

ひたすらいろいろ皆さんに声かけをしているというようなことだったり、それから先ほど移動販売の話もありましたけども、こちら結構施設が中心にされる場合だと、顧客の最低限が施設で確保できるので、月1回、食事というよりは、お菓子とか楽しいもの、プラスアルファで買われる方々は月1回ぐらいの楽しみでいいんですが、生活に伴うようなものとなってくると、やっぱり金額ですね、ここでこれ買うのはちょっともったいないかなとか、そういったシビアな金額設定で見られると、地域向けに団地とかに持っていくと、なかなか2回、3回が続かないみたいなことがあって、難しかったなどいうところではありますけれども、少し新しい取組みとして、会食会をやったものをキッチンカーに変えてもいいかなと思うような事案も出てきていますし、先ほど少しご紹介しましたが、うたごえなんかも、これから参加をされる方々がどんどん増えてくるかなと思っていますので、そういう人口が大きく広がっていけるように、いろんな開発をしていきたいなと思っています。

現場のいろいろなニーズに応えながら、地域の皆さんともアイデアを出し合いながら進めていくことになるかと思いますが、この間大きく成長したものは、やっぱり「おれんじカフェ」ですね。「おれんじカフェ」が、包括支援センターの方々とともに各圏域でかなりの数を増やしてまいりました。これのよかった点というのは、「おれんじカフェ」で関わっている参加者同士がLINEのグループなどをつくって、徘徊問題などについては顔見知りになっているのですぐサポートし合えたりとか、小さな助け合いの形ができてきたということもありまして、カフェをして、居場所をつくるということのみならず、そこが助け合いの仕組みになったりということもありますので、この「おれんじカフェ」の取組みは、現在はまだ小学校区全部にできているわけではないんですが、今後少しずつ広げていきたいなと思っています。

部会長

地域の資源、そこにニーズがあるということは、日々の支援の中で感触として感じているし掴んでいるんだけど、全然サポートの当てがないわけでもないけど、しかしながら形になるにはいろんなタイミングであるとか、いろんなものが必要になるということもあって、長い目で見ながらあるいはちょっと形を変えながら、この計画のように年度ごとに1つずつでも増やしていくということが今後の目標となるでしょうね。ありがとうございました。

議題4

■その他

事務局

第8期における生活支援サービス部会は、本日で全て終了となります。生活支援体制整備事業についてこれまで貴重なご意見ありがとうございました。

部会長

皆様どうもお疲れさまでございました。